

## 医療安全通信 第44号

【薬局部医療安全委員会】

医療安全推進のため、Pharma Bridgeを通じて、医療安全上の周知すべき情報やタイムリーな話題を随時発信いたします。業務手順書の書換えや日常業務にお役立てください。

## インフルエンザ罹患時の注意点について

インフルエンザ罹患時には、**抗インフルエンザウイルス薬の種類や服用の有無にかかわらず、異常行動が報告されています。**厚生労働省では、異常行動による転落等のリスクを低減するため、これまでも注意喚起を行っている内容に加え、具体的な対策を示し、都道府県等を通じて医療機関等に注意喚起の徹底を依頼しました。

(全文は右記よりご確認ください。http://www.pmda.go.jp/files/000221188.pdf)

## ◆ 異常行動の例

- ✓ 突然立ち上がって部屋から出ようとする
- ✓ 興奮状態となり、手を広げて部屋を駆け回り、意味のわからないことを言う
- ✓ 興奮して窓を開けてベランダに出ようとする
- ✓ 自宅から出て外を歩いていて、話しかけても反応しない
- ✓ 人に襲われる感覚を覚え、外に飛び出す
- ✓ 変なことを言い出し、泣きながら部屋の中を動き回る
- ✓ 突然笑い出し、階段を駆け上がろうとする。

これらの異常行動の結果、転落等による死亡事例も2009年4月から2017年8月までに8件報告されています。

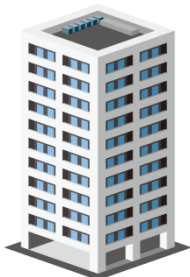
抗インフルエンザ薬の服薬指導はもちろん、インフルエンザ流行時には処方の有無にかかわらず、具体的な説明を行って注意喚起してください。

小児・未成年者がインフルエンザにかかり、自宅で療養する場合は、**抗インフルエンザウイルス薬の種類や服用の有無によらず、インフルエンザと診断され治療が開始された後、少なくとも2日間は、保護者等は小児・未成年者を一人にしない**ことを原則として下さい。

NEW!

## 小児・未成年者が住居外に飛び出ないための追加の対策 (例)

## (1) 高層階の住居の場合



- 玄関や全ての部屋の窓の施錠を確実に行う  
(内鍵、補助錠がある場合はその活用を含む)
- ベランダに面していない部屋で寝かせる
- 窓に格子のある部屋で寝かせる  
(窓に格子がある部屋がある場合)

## (2) 一戸建ての場合



(1) に加え、できる限り1階で寝かせる



旭川薬剤師会公式サイトに医療安全通信のバックナンバー、掲載資料や参考資料も掲載しています。